

## 令和8年度「学校の部活動に係る活動方針」

徳島県立脇町高等学校

### 1 基本方針

- 学校の部活動は、スポーツ・文化芸術に興味・関心のある同好の生徒が自主的・自発的に参加し、各部活動の責任者（以下「部活動顧問」という。）の指導の下、学校教育の一環として行われる教育活動であり、体力の向上や健康の増進、豊かな心や創造性の涵養、異年齢との交流の中での好ましい人間関係の構築等にも効果的な活動であることから、学校の教育目標に基づき、計画的に実施する。
- 生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するために、学校の部活動の在り方に関して速やかに改革に取り組み、生徒や保護者の負担に十分配慮しつつ、持続可能な活動環境を整備する。
- 部活動の実施に当たっては、生徒の心身の健康管理や事故防止、また部活動指導における体罰やハラスメント等不適切な指導のないよう徹底する。

### 2 適切な運営のための体制整備

- (1) 学校長は、学校の設置者の「設置する学校に係る部活動の方針」に則り、年度初めに「学校の部活動に係る活動方針」を策定する。
- (2) 各部活動顧問は、「学校の部活動に係る活動方針」に則り、各部活動の活動計画及び実績並びに活動実績を作成する。
- (3) 学校長は、部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動を推進するため、運営方法について検討・点検・協議を実施できるよう、校内組織「部活動適正化推進委員会」を設置し、コンプライアンス意識及び全体的な活動の質の更なる向上を図る。

### 3 適切な休養日の設定

- (1) 学期中は、原則として週あたり2日以上以上の休養日を設ける。（平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日（以下「週末」という。）は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。）
- (2) 長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるとともに学校部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度の休養期間を設ける。
- (3) 1日の活動時間は平日は原則として放課後2時間程度、学校の休業日（学期中の週末を含む）は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。
- (4) 定期考査開始3日前より考査終了前日までの間は、原則、活動を休止する。ただし、次の場合は校長の許可を得て活動することができる。
  - ①考査終了日より2週間以内に公式試合や大会が行われる場合
  - ②考査終了日より3週間以内に公式試合や大会が行われる場合、活動休止の期間（定期考査開始3日前から考査終了前日）の一部の活動を認める。  
ただし、その場合、活動休止の期間に活動した日数と同日以上、定期考査開始9日前から4日前の間に活動休止期間を設けること。また、考査直前の土・日のどちらかは活動休止日とすること。

※ ①の場合は、考査開始4日前までに「部活動実施許可願」を提出すること。

②の場合は、考査開始10日前までに、「部活動実施許可願」により定期考査開始9日前から考査終了前日までの活動日・活動休止日を明らかにすること。

#### 4 部活動の設置

- (1) 今後、美馬地域の子どもの減少から16歳人口も減少傾向により、生徒数（定員）の減少が予想される状況を鑑み、原則として、運動部、文化部とも新たな部活動を設置しない。ただし、校内名称で男女の区別をしていない運動部であり、かつ、校外的（男女別）には部活動としていない活動において、男女別での単独チームとして大会に出場できる人数で活動が1年間継続できた場合、部活動適正化推進委員会（以降、「委員会」とする。）において同好会への昇格について協議・検討することができる。その場合、校内の部活動数、教職員数及び活動状況等を十分考慮する。
- (2) 同好会で1年間活動が良好で、活動への昇格が適当であると認められた場合、校内の部活動数、教職員数等を十分考慮し部活動への昇格を委員会で協議・検討することができる。

#### 5 部活動の休部・廃部

次の事項については、委員会での確認・協議により決定する。

- (1) 個人競技のある運動部や文化部については、2年連続新入部員がゼロであった場合、または、登録している部員がいなくなった場合、原則、翌年度から廃部とする。
- (2) 団体競技（硬式野球、バレーボール等）のみの運動部については、男女別の単独チームとして2年連続県高校総体へ出場できなかった（部員不足が原因）場合、原則、翌年度から募集停止とするなど、休部を協議する。登録している部員がいなくなった翌年度に廃部とする。
- (3) 同好会については、活動状況等を考慮し、休部・廃部を協議する。
- (4) 休部となった部活動については、原則、顧問の配置は行わない。
- (5) 既存部活動・同好会において、活動が著しく不良である場合、休部・廃部を協議する。

※休部や募集停止は部員登録完了又は県総体参加登録時点（5月中旬）で判断し、委員会で決定。翌年度用の広報（スクールガイド、学校情報等）に反映する。

その他、年度末において、次年度の教員数の減少等を鑑み、既存の部活動数を維持することは困難であると学校長が判断した場合、部活動の活動状況等を参考に休部・廃部について判断する。

#### 6 合同チームでの大会参加

合同チームでの各種大会参加が可能な種目等において、他校と合同チームを組み参加可能である種目は、本校で部活動として活動する種目のみとする。

#### 7 部費について

部費は対外的に部活動としている部活動（男女別）にのみ、配分する。それ以外の活動に対しての部費の配分や、活動に際しての増額はしない。

2023年12月21日改

2025年 4月21日改